

三郷町下水道事業経営戦略（概要版）（1）

改定計画期間：令和7年度～令和16年度
(2025年度～2034年度)

三郷町 環境整備部 下水道課

I 経営戦略改定の趣旨

改定の趣旨

令和2年度の策定から5年が経過することから、最新の経営成績に基づいて収支計画を見直し、さらなる経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図ることを目的として、本計画を改定するものです。

改定計画期間

令和7年度から令和16年度までの10年間とし、決算に基づく事業の進捗状況の点検・評価を毎年度行い、その結果を踏まえて中間見直しを令和12年度に行います。

II 下水道事業の概要

(令和6年3月31日現在)

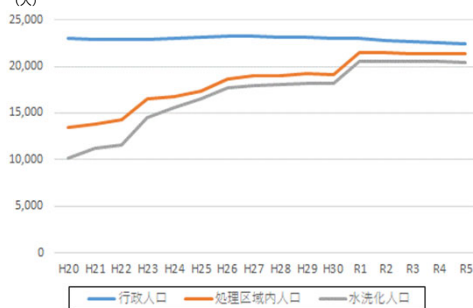
供用開始年月日 (経過年数)	処理区域 内面積	処理区域 内人口	処理区域内 人口密度	水洗化人口	水洗化率
昭和55年3月27日(44年)	357 ha	21,309 人	59.7 人/ha	20,446 人	95.95 %
流域関連公共下水道へ移行	ポンプ場	管きょ延長	マンホール ポンプ場	排除方式	
平成18年3月	1 箇所	97km	8 箇所	分流式	

III 供用開始区域



供用開始区域図 令和6年4月26日現在

【行政人口、処理区域内人口及び水洗化人口の実績】

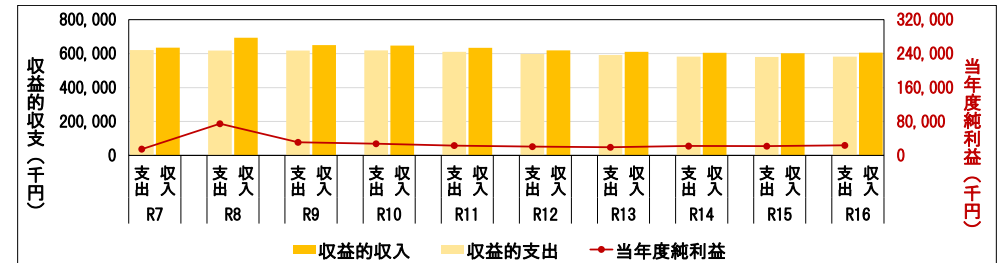


IV 投資・財政計画

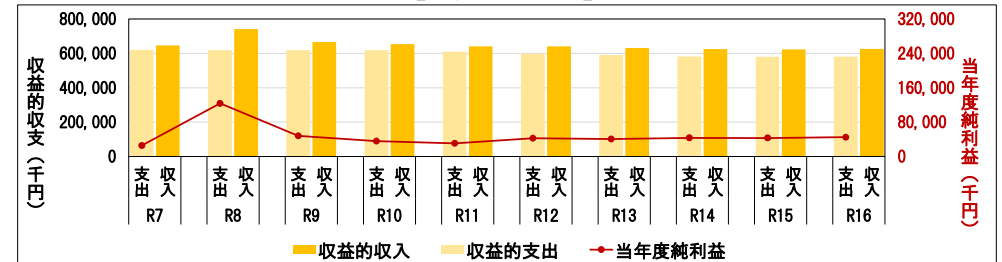
「現状ケース」と投資以外の経費試算及び財源試算の一部を見直した「見直しケース」の2つのケースで、将来の収支シミュレーションを行いました。

収益的収支

【現状ケース】

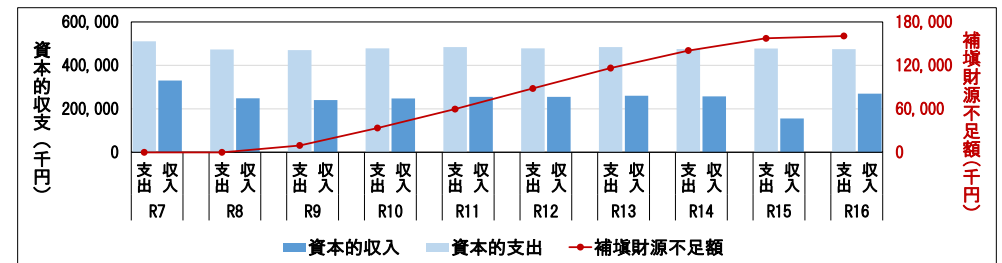


【見直しケース】

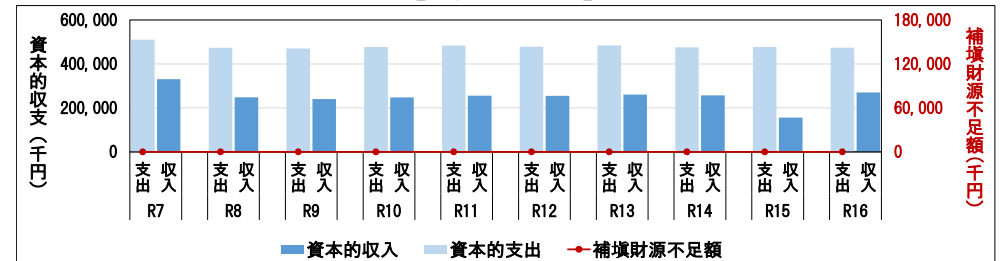


資本的収支

【現状ケース】



【見直しケース】



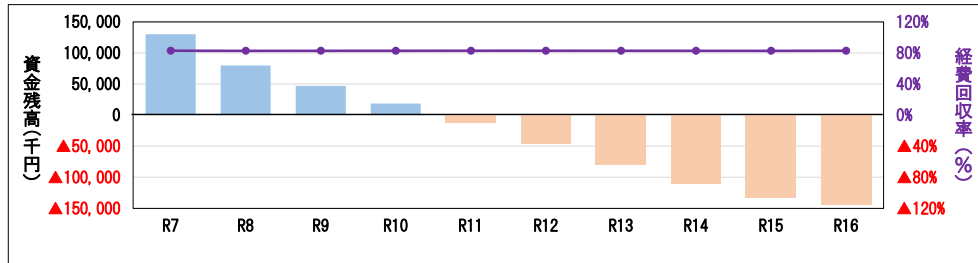
三郷町下水道事業経営戦略（概要版）（2）

改定計画期間：令和7年度～令和16年度
（2025年度～2034年度）

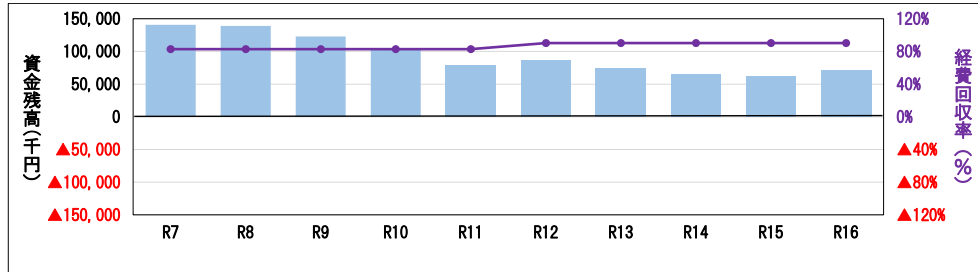
三郷町 環境整備部 下水道課

資金残高と経費回収率

【現状ケース】



【見直しケース】



「現状ケース」の場合は、補填財源と資金残高が不足する見通しです。
収支の均衡と経費回収率向上が見込まれる「見直しケース」を採用します。

V 使用料改定の必要性の検証

計画期間10年間に於いて、使用料改定の必要性について検証を行いました。
経費回収率が100%を下回るため、使用料の改定が必要な状況です。

項目	単位	10年間合計 計画期間（令和7年～令和16年）
①汚水処理費	千円	2,862,309
②使用料収入	千円	2,370,377
③経費回収率（②/①）	%	82.81%

VI 経営の基本方針と取組

基本方針	① 快適な生活環境の実現
	② 持続可能な下水道経営
	③ 経営基盤の強化・財務マネジメントの向上

今後検討予定の取組

【基本方針① 快適な生活環境の実現】

- 施設設備の長寿命化に取り組むとともに、投資の平準化に取り組んでいきます。
- 専門的な知識・技術をもつ職員の育成に努めます。
- 下水道事業への関心を高める広報活動に努めます。

【基本方針② 持続可能な下水道経営】

- 普及啓発活動を継続し、下水道接続率向上の取り組みを進めます。
- 広域化・共同化のソフト施策（維持管理業務の共同化やデジタル化推進）について、具体的な検討を進め効率化を推進します。
- 設備の適切な管理を行い、経費削減・効率化に努めます。

【基本方針③ 経営基盤の強化・財務マネジメントの向上】

- 一般会計からの繰入金が必要最小限とし、水洗化率の向上や経費の削減等により、安定的な経営を目指します。
- 将来にわたり安定した下水道サービスを提供するために、令和12年度の下水道使用料改定を実施します。
- 中継ポンプ場やマンホールポンプ場の日常運転管理業務や修繕対応を含めた包括的な民間委託を実施することによるコスト削減の可能性を検討します。

VII 経費回収率向上に向けたロードマップ

業績指標	実績値 令和5年度	中間値 令和11年度	目標値 令和16年度
経費回収率	84.15%	84%以上	88%以上
水洗化率	95.95%	96%以上	97%以上
経常収支比率	117.20%	100%以上を維持	100%以上を維持

今後の取組		～令和9年度	令和11年度	令和12年度	令和16年度
収入増加	下水道使用料の改定	令和6年度 経営戦略に位置付け	使用料検討 条例改正	令和12年度 使用料改定	
	下水道接続の促進	普及啓発活動の継続的な実施			
支出抑制	施設老朽化対策の推進	令和7年度 第2期ストック マネジメント 計画策定	計画に基づき改築		